

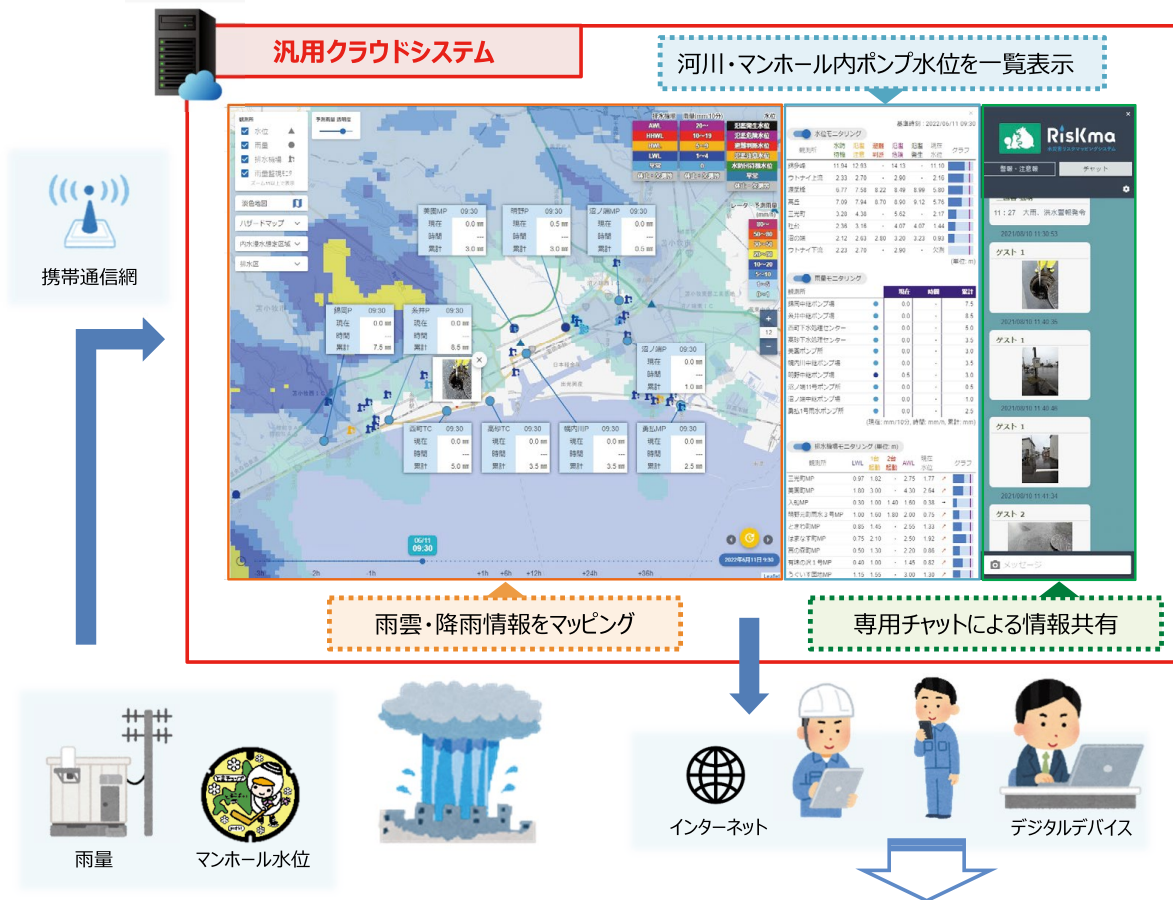
アセットマネジメント部門

汎用クラウドシステムを活用した防災対応の取組

北海道苫小牧市 (株)建設技術研究所

受賞事例の概要

少子高齢化に伴う技術職員の不足、激甚化する大雨災害への対応として、汎用クラウドシステムを活用した大雨管理システムを導入し、業務の効率化と職員の負担軽減を図りました。



PRポイント!

汎用クラウドシステムを活用することで、**開発費の低コスト化**と、**システム開発時間の削減**ができました。

また、サーバへの通信に**LPWA**を採用したことで、**通信コストの削減**ができました。

取組の効果!

大雨時に現地の情報収集をするためのパトロールや水位計測作業などがなくなり、**職員の負担を軽減**することができました。

また、リアルタイムの情報収集が可能になったことで、**24時間対応の大雨管理体制を構築**することができました。

Key Person



下水道課 計画係 主査
菊地 健元

システムベンダーから技術的な支援をいただき、実際に運用する職員と改良を重ね、シンプルでありながら多くの情報を視覚的に確認できる「使い勝手の良い」システムを構築することができました。

システムでは10分毎の河川水位やポンプ所水位、降雨状況、雨雲などのデータを自動的に蓄積していますので、今後の浸水対策の基礎データとして活用したいと考えています。

今後もICT/IoTなどのデジタル技術を有効に活用することで、職員の業務負担の軽減を図りながら事業課題への取組を進めていきたいと思っております。